

行事案内	月 日	行 事 名	場 所	掲載ページ
本 部	8月24日(木)	膨張性セメント混和材を用いたコンクリートに関するシンポジウム	土木学会	7月号本文 120 参照
	8月30日(水) ~31日(木)		東 京	本号本文 126 "
	9月4日(月) ~5日(火)	第5回土木計画学講習会	土木学会	本号本文 126 "
	9月9日(土)	映 画 会	同	本号本文 130 "
	9月11日(月) ~12日(火)	第5回土木計画学講習会	大 阪 市	本号本文 126 "
	9月28日(木)	第1回土木製図の自動化に関するシンポジウム	東 京	本号本文 132 "
	10月20日(金) ~22日(日)	昭和 47 年度全国大会	福 岡 市	7月号前付9~42"
	11月13日(月) ~14日(火)	第 19 回海岸工学講演会	東 京	本号本文 127 "
	北海道支部	9月29日(金)	特別講演会	札幌市
東北支部	9月6日(水)	講演と映画の会	仙台市	本号本文 136 "
	10月4日(水)	見学会	宮城県	本号本文 137 "
	10月6日(金)	映 画 会	仙台市	本号本文 137 "
関東支部	9月21日(木)	講習会	土木学会	本号本文 137 "
	10月12日(木) ~13日(金)	見学会	栃木県	本号本文 138 "
中部支部	8月25日(金)	技術講座 第2回見学会	名古屋市	本号本文 138 "
	9月29日(金)		同	本号本文 138 "
関西支部	7月25日(火)	講習会 業務研究発表会 見学会 講習会	大阪市	7月号本文 130 "
	8月29日(火)		同	7月号本文 127 "
	9月8日(金)		同	7月号本文 137 "
	10月13日(金) ~14日(土)		同	本号本文 139 "
西部支部	8月24日(木) ~25日(金)	夏期講習会	熊本県	本号本文 139 "
その他	8月23日(水) ~26日(土)	応力測定に関する講習会	東 京	7月号本文 125 "
	8月25日(金) ~26日(土)	第16回材料研究連合講演会	大 阪 市	7月号本文 124 "
	10月25日(水) ~27日(金)	日米合同シンポジウム：建設計画および設計のシステム化と自動化	東 京	本号本文 133 "
お知らせ	<ul style="list-style-type: none"> ■第5回「土木学会映画コンクール」作品募集 ■構造物の耐風性に関する第2回シンポジウム開催と発表論文の募集 ■「荷重、外力と構造物の安全性」に関する研究発表論文募集 ■第9回衛生工学研究討論会講演募集 ■ヨーロッパ建設視察団の案内 ■第19回 風に関するシンポジウム講演募集 ■第9回 自然災害科学総合シンポジウム講演募集 ■第7回 土木計画学シンポジウム課題報告公募 ■第8回 岩盤力学に関するシンポジウム講演募集 ■遠心力大径プレストレストコンクリート杭設計施工指針(案)講習会 ■第22回応用力学連合講演会講演募集 			本号本文 130 " 本号本文 131 " 本号本文 131 " 本号本文 132 " 本号本文 133 " 本号本文 134 " 本号本文 134 " 本号本文 134 " 本号本文 135 " 本号本文 135 " 本号本文 136 "

支 部 所 在 地

- 北海道支部：郵便番号 060・札幌市南1条西2丁目・勸銀ビル5階 (電 011-251-7038)
- 東北支部：郵便番号 980・仙台市二日町 18-25・丸七ビル3階 (電 0222-22-8509)
- 関東支部：郵便番号 160・東京都新宿区四谷1丁目・土木学会総務課内 (電 03-351-4133)
- 中部支部：郵便番号 450・名古屋市中村区笹島町1丁目 232番地 近畿日本鉄道(株)
鉄道総局名古屋営業局施設部庶務課内 (電 052-582-3311・内線 251)
- 関西支部：郵便番号 541・大阪市東区船場中央2丁目2番地・船場センタービル4号館409号
(電 06-271-6686)
- 中国四国支部：郵便番号 730・広島市基町 10番3号・自治会館内 (電 0822-21-2666)
- 西部支部：郵便番号 810・福岡市薬院2丁目14番21号 (電 092-78-3716)

昭和 47 年度夏期講習会 <於東京>

▶ 8 月 30 日 (水) ~ 31 日 (木) ◀

最近、市街地における土木工事の複雑化やガス爆発事故、酸素欠乏現象の発生等から、建設省の「市街地土木工事公衆災害防止対策要綱」が改正されたこと等を考慮し、本年度は「市街地土木工事の仮設と安全対策」のテーマにより夏期講習会を開催いたします。本講習会では市街地における土木工事の施工に当って遵守すべき前記要綱を中心に下記テーマにつき現在第一線で活躍中の方々により詳細に講習されることになっており、斯界進展に資するところ大であると思われまますので、ふるって参加されるようおすすめします。

1. 期 日：1972 年 8 月 30 日 (水)、31 日 (木) の 2 日間
2. 場 所：厚生年金会館小ホール (新宿区番町 19・Tel. 356-1111)
3. 参加費：会 員 4 000 円、非会員 4 500 円 (含テキスト代)
4. テキスト：市街地土木工事の仮設と安全対策
5. 内 容：
 - (8 月 30 日)
 - 9.45~10.00 開 会 挨拶 土木学会長 岡 本 舜 三
 - 10.00~11.00 市街地土木工事公衆災害対策要綱の改正について 建設省計画局建設業課専門官 鈴 木 恒 夫
 - 11.00~12.00 市街地における大規模掘削工事の安全対策 帝都高速度交通営団建設本部工事第 1 課長 蜷 川 達 郎
 - 12.00~13.00 昼 食 休 憩
 - 13.00~14.00 作業場付近の交通対策 警視庁交通部交通規制課 若 林 徹 雄
 - 14.00~15.00 営業線近接工事の安全対策 日本国有鉄道東京第三工務局次長 田 中 和 夫
 - 15.00~15.15 休 憩
 - 15.15~16.15 埋設物の保安処理 東京ガス (株) 供給管理室 山 口 靖 之
 - 16.15~17.15 酸素欠乏症 労働省安全衛生部労働衛生課 中 西 吉 造
 - (8 月 31 日)
 - 9.30~10.30 土 留 工 鹿島建設 (株) 土木部技術課長 堀 井 陽 三
 - 10.30~11.30 路 面 覆 工 東京都交通局第 1 建設事務所長 吉 田 収 一
 - 11.30~12.30 昼 食 休 憩
 - 12.30~13.30 重量物の運搬と架設 (株) 東京鉄骨橋梁製作所工務部長 松 岡 亮 一
 - 13.30~14.30 市街地における杭打作業 前田建設工業 (株) 東京支店 中 野 衛
 - 14.30~14.45 休 憩
 - 14.45~15.45 コンクリート地下連続壁の施工 (株) 大林組技術部設計課主任技師 東 浦 信 光
 - 15.45~16.45 足場と支保工 大成建設 (株) 安全課主任 黒 沢 透
 - 16.45~17.00 閉 会 挨拶 土木学会行事企画委員会委員長 森 茂
6. 申込方法：本誌 7 月号添付の申込書に必要事項を記入のうえ、参加費を添えて 8 月 10 日までにお申込み下さい。なお、定員がありますので満員の際はお断りすることがあります。
7. 申 込 先：東京都新宿区四谷 1 丁目 土木学会事業課

第 5 回 土 木 計 画 学 講 習 会

▶ 東京会場 9 月 4 日 (月) ~ 5 日 (火) ◀
▶ 大阪会場 9 月 11 日 (月) ~ 12 日 (火) ◀

昭和 43 年 8 月に第 1 回の土木計画学講習会を開催いたしましてから、はやくも本年度で 5 年目の夏を迎えようとしております。この間「ネットワーク手法」「資料整理」「将来予測」「計画手法と情報の抽出」「PERT CPM」「PPBS」「待ち行列」「割当て」「最適化手法」などを主題としまして 4 回の講習会を開き、多くの参加者を迎えて、大きな成果をあげてまいりました。

本年は、これら上記の成果をふまえて、とくに「費用便益分析の手法」を主題として、土木以外の講師もお迎えして実施することといたしました。

周知のとおり、土木計画の経済的側面からの評価に際して、費用便益分析は最も一般的に用いられているものであります。しかし、実際に分析などの作業に際しましては、その調査・測定・評価にしばしば苦心するところでありまます。

今回の講習会は、その内容・講師・時期など適切かつ充実したものでありますので、より多くの関係者の参画をお待ちしています。

1. 主 題：土木計画における費用便益分析
2. 主 催：土木学会土木計画学研究委員会
3. 期 日：
 - ▶ 東京会場：1972 年 9 月 4 日 (月) ~ 9 月 5 日 (火) 於 土木学会図書館講堂 (東京都新宿区四谷 1 丁目 外濠公園内 / 国電・地下鉄四ツ谷駅四谷口下車徒歩 5 分 / 電話 (03) 351-5138 番)

▶大阪会場：1972年9月11日(月)～9月12日(火)於 大阪科学技術センター4階401号室(大阪市西区靱1丁目118番地/地下鉄四ツ橋線本町下車北へ150m,靱公園北東角地/電話(06)443-5321番)

4. プログラム：(第1日)

9.30～9.40 開会あいさつ
 9.40～11.40 費用便益分析の理論的背景 東工大 阿部 統
 12.40～14.40 公共投資における経済分析 運輸省 大塚 友則
 15.00～17.00 交通計画における費用便益分析 東工大 菅原 操

(第2日)

9.30～11.30 河川計画における費用便益分析 建設省 佐々木 才郎
 12.30～14.30 道路計画における費用便益分析 建設省 山根 孟
 14.45～16.45 港湾計画における費用便益分析 運輸省 川崎 芳一
 16.45～16.55 閉会あいさつ

5. 参加費：会員 @3500円, 会員外 @4000円(ただし, テキスト代を含む)

6. 申込み方法：参加希望者は, A4判大の用紙に, ①氏名, ②所属官職名, ③連絡先(住所・氏名・郵便番号・職場/自宅区分, を明記のこと), ④会員区分, ⑤連絡事項, を明記のうえ, 参加費を添えて現金書留で下記あて申込んで下さい。ただし, 前金の不都合な際は, 上記①～⑤項を明記の用紙を下記あて送付して下さい。

〒160 東京都新宿区四谷1丁目 土木学会事務局土木計画学講習会係 電話(03)351-5130番

第19回海岸工学講演会

▶ 11月13日(月)～14日(火) ◀

第19回海岸工学講演会は, 次の日程により東京都において開催致しますので, 多数ご参加下さるようご案内致します。なお, 講演会論文集は目下編集中で, 10月下旬にでき上がる予定です。

主催：土木学会海岸工学委員会

共催：土木学会関東支部

1. 期日：1972年11月13日(月)～14日(火)

2. 会場：第1会場：日消ホール(東京都港区芝西久保明舟町18) TEL(580)7052

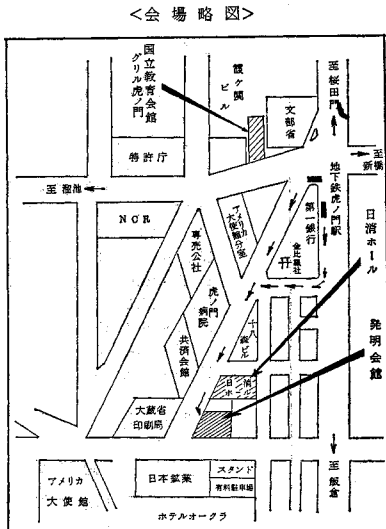
第2会場：発明会館ホール(東京都港区芝西久保明舟町17) TEL(502)0510

3. 参加方法：参加費無料, 自由参加

4. 講演題目：○印は講演者

第1日：11月13日(月) 第1会場(日消ホール)

- 9.00～9.05 開会挨拶 海岸工学委員会委員長 岩 垣 雄 一
 9.05～9.20 (1) 北海道留萌沿岸 小平海岸における漂砂に関する若干の考察 日本大学 久宝雅史・北海道庁 ○戸巻昭三
 9.20～9.35 (2) 小川原湖海岸における漂砂について 港湾技術研究所 佐藤昭二・第二港湾建設局 河西輝夫・港湾技術研究所 ○田中則男・第一港湾建設局 入江 功
 9.35～9.50 (3) 千葉県屏風ヶ浦の海岸侵蝕について (3)——航空写真による海蝕崖の後退に関する研究・第4報—— 東京大学 堀川清司・○砂村雄夫 東海大学 齋藤 晃
 9.50～10.05 (4) 駿河湾奥部の漂砂について
 10.05～10.25 討議 (1)～(4)
 10.25～10.35 休憩
 10.35～10.50 (5) 皆生海岸の侵食とその対策 建設省 ○安藤 丘・佐久間良知・田村末次・藤原達雄・鳥取大学 野田英明
 10.50～11.05 (6) 大湊海岸における漂砂の沖方向分布の特性 京都大学 土屋義人・○芝野照夫
 11.05～11.20 (7) 海浜における底質粒径分布の変化について 宮崎大学 吉高益男
 11.20～11.35 (8) 実験計画法による海浜変形の研究—高次交互作用について— 岐阜大学 増田重臣・名城大学 ○伊藤政博
 11.35～11.55 討議 (5)～(8)
 11.55～13.30 昼食休憩
 13.30～13.45 (9) 漂砂による小港湾埋没防止対策に関する一考察 北海道大学 尾崎 晃
 13.45～14.00 (10) 海岸堤防堤脚部の洗掘に関する研究 鳥取大学 ○野田英明・岩佐敏博
 14.00～14.15 (11) 灌漑付近の砂床変形について 農林省農業土木試験場 杉江正文・○大島 登



- 14.15~14.30 (12) 離岸堤設置による海浜変動(松任・美川海岸) 建設省北陸地方建設局 須山 洋・宮崎昭二・伊藤宏美
 14.30~14.40 討議 (9)~(12)
 14.50~15.00 休憩
 15.00~15.15 (13) 離岸堤による海岸変形について——二次元の場合——
 農林省農業土木試験場 中村 充・大西亮一・東海大学 宮村長生
 建設省土木研究所 ○豊島 修・建設省河川局 坂本忠彦
 水産庁漁港部 ○川口 毅・農林省農業土木試験場 杉江正文
 15.15~15.30 (14) 離岸堤の沈下について
 15.30~15.45 (15) 離岸堤の配置に関する研究
 15.45~16.00 討議 (13)~(15)
 16.00~16.10 休憩
 16.10~16.25 (16) 海洋性レクリエーションとその環境 東京大学 堀川清司・○佐々木民雄・五十嵐 元
 16.25~16.40 (17) リップ・カレントの発生理論 東京工業大学 ○日野幹雄・林 直樹
 16.40~16.55 (18) 河口形状と河口閉塞防止の実験例について 北海道開発局土木試験所 山口 甲・長谷川 茂・近藤幸雄
 16.55~17.10 (19) 潮汐による河口の flow pattern の変化 北海道大学 ○柏村正和・吉田静男
 17.10~17.25 (20) 石狩川河口の旧川における感潮現象 北海道大学 福島久雄・八織 功・○高橋 将・大谷守正
 17.25~17.50 討議 (16)~(20)

第1日:11月13日(月)第2会場(発明会館ホール)

- 9.10~9.25 (21) 放物線分布の吹送流に対する波速の計算 運輸省港湾技術研究所 加藤 始
 9.25~9.40 (22) 風波のスペクトルの相似性について 九州大学 ○光易 恒・本多忠夫
 9.40~9.55 (23) 海洋波のクロス・スペクトル解析 九州大学 ○水野信二郎・力石国男・光易 恒
 9.55~10.10 (24) 造波機による現地不規則波浪のシミュレーションに関する研究 京都大学 岩垣雄一・木村 晃
 10.10~10.25 討議 (21)~(24)
 10.25~10.35 休憩
 10.35~10.50 (25) 風波による碎波の波高減衰と波高の確率分布 台湾成功大学 郭 金棟・郭 秀吉
 10.50~11.05 (26) 減衰域における不規則波の変形について 大阪大学 榎木 亨・運輸省第一港湾建設局 ○田端竹千穂
 11.05~11.20 (27) 不規則波の水粒子速度と水面変動との相互関係に関する研究 京都大学 岩垣雄一・酒井哲郎・○石田 啓
 11.20~11.35 (28) 海岸不規則波の動特性について 北海道大学 ○浜中健一郎・佐伯 浩
 11.35~12.00 討議 (25)~(28)
 12.00~13.30 昼食休憩
 13.30~13.45 (29) 表面波による乱流境界層について 浜田徳一
 13.45~14.00 (30) 重複波による浮遊粒子の挙動について 京都大学 岩垣雄一・○平山秀夫
 14.00~14.15 (31) 孤立波の変形に関する研究(3) 北海道大学 ○佐伯 浩・尾崎 晃・(株)大林組 佐藤滋男
 14.15~14.30 討議 (29)~(31)
 14.30~14.40 休憩
 14.40~14.55 (32) 潜堤の効果に関する理論的研究(2)——透過性潜堤—— 九州大学 井島武士・田淵幹彦・湯村やオ
 14.55~15.10 (33) 遊水部をもつ直立消波防波堤と護岸 九州大学 井島武士・○奥田英明・湯村やオ・坂井久雄
 15.10~15.25 (34) 透過性防波構造物の水理特性(第3報) 室蘭工業大学 ○近藤徹郎・藤間 聡・電源開発(株) 浅野潤一
 15.25~15.40 (35) 透過性構造物による波の変形について 大阪大学 榎木 亨・○岩田好一郎
 15.40~16.00 討議 (32)~(35)
 16.00~16.10 休憩
 16.10~16.25 (36) Crenellated Breakwater の伝達波 日本港湾コンサルタント ○高 隆二・木村 弘
 16.25~16.40 (37) 海岸堤防の消波工の規模と消波効果 建設省土木研究所 ○富永正照・建設省中部地方建設局 九津見生哲
 16.40~16.55 (38) エアカーテンによる消波機構について 農林省農業土木試験場 ○中村 充・農林省農地局 佐々木泰雄
 農林省農業土木試験場 大西亮一・東海大学 法貴貫忠郎
 16.55~17.10 討議 (36)~(38)

第2日:11月14日(火)第1会場(日消ホール)

- 9.00~9.15 (39) 防波堤開口部における波のエネルギー損失に関する実験 京都大学 岩垣雄一・○村上仁士
 9.15~9.30 (40) 湾水振動問題における開口部の境界条件について 東京大学 堀川清司・○西村仁嗣
 9.30~9.45 (41) 高知港模型における長周期波の特性について 京都大学 中村重久・土屋義人
 9.45~10.00 (42) 清水港の振動特性 理化学研究所 宇野木早苗・東海大学 齋藤 晃・○小菅 晋
 10.00~10.20 討議 (39)~(42)
 10.20~10.30 休憩
 10.30~10.45 (43) タイダル・ベースンにおける乱れと拡散 東京工業大学 日野幹雄・○高須修二
 10.45~11.00 (44) Box model による海水交流の研究 理化学研究所 宇野木早苗
 11.00~11.15 (45) 沿岸における巻水の分散の法則性 東京大学 西村 肇・平泉 泰・熊谷幹郎
 11.15~11.30 (46) 廃液浮上ブリュームの濃度の拡散 中央大学 林 泰造・東京都建設局 ○土屋十園・中央大学 伊藤正樹
 11.30~11.50 討議 (43)~(46)
 11.50~13.00 昼食休憩
 13.00~13.15 (47) 秋田港周辺の海域における河川水と排水の拡散について(第1報)——二次元ポテンシャル理論——
 秋田工業高等専門学校 伊藤 惇
 13.15~13.30 (48) 緩混合型密度流の流速密度分布と拡散係数に関する一試算 長崎大学 古本勝弘
 13.30~13.45 (49) 温度密度流による拡散の数値解法 運輸省第二港湾建設局 堀口孝男・○平出友信・運輸省第四港湾建設局 川上善久
 13.45~14.00 (50) 非定常拡散方程式の数値計算方法 建設省土木研究所 村上 健
 14.00~14.15 (51) 非保存系物質拡散の数値解法について 運輸省第二港湾建設局 堀口孝男

- 14.15~14.30 (52) 潮沙水理模型による拡散予測 電力中央研究所・和田 明・片野尚明 ○加藤正進
 14.30~15.00 討議 (47)~(52)
 15.00~15.10 休憩
 15.10~15.25 (53) 越波量に及ぼす堤防前面地形の影響 関西大学 ○井上雅夫・菊岡 敏
 15.25~15.40 (54) 越波の飛散分布について 中部工業大学 高田 彰
 15.40~15.55 (55) 防波護岸の越波に関する現地観測 (第1報) 運輸省第一港湾建設局 西村一男・運輸省第一港湾建設局 ○入江 功
 15.55~16.10 (56) 不規則波の海岸堤防へのうちあげ 建設省土木研究所 富永正照・橋本 宏
 16.10~16.25 (57) 複合断面における波の打上げに関する研究 農林省農業土木試験場 中村 充・農林省農地局 ○佐々木泰雄・東海大学 山田謙二
 16.25~16.35 (58) 埋立地造成に伴う打上げ高、沿岸流の変化 徳島大学 三井 宏・筒井茂明・亀川和正
 16.35~16.50 (59) 水面附近をしゃ蔽した場合の波の打上げ高に関する研究 日本大学 久宝雅史・○竹沢三雄・飛鳥建設(株) 中川善雄
 16.50~17.25 討議 (53)~(59)
 17.25~17.55 第13回国際海岸工学会議報告 海岸工学委員会委員長 岩垣雄一
 17.55~18.00 閉会挨拶 海岸工学委員会委員長 岩垣雄一

第2日: 11月14日(火) 第2会場(発明会館ホール)

- 9.00~9.15 (60) 波向線交差領域での波の屈折—数値波動解析法の応用(2)— 運輸省港湾技術研究所 伊藤喜行・○谷本勝利
 9.15~9.30 (61) 護岸に沿う走り波の研究 北野建設(株) 吉沢 正
 9.30~9.45 (62) 不規則な海の波の防波堤による回折の計算 運輸省港湾技術研究所 永井康平
 9.45~10.00 (63) 防波堤屈曲部付近の波高、波圧分布 北海道開発局土木試験所 鴻上雄三・北海道開発局 藤木信之
 北海道開発局土木試験所 ○堤 敏郎・上原泰正
 10.00~10.20 討議 (60)~(63)
 10.20~10.30 休憩
 10.30~10.45 (64) 高基混成堤立部の期待滑動量について 東京大学 堀川清司・日本テトラポッド(株) ○小沢保臣・運輸省港湾技術研究所 高橋邦夫
 10.45~11.00 (65) 異常気象による防波堤の滑動について 運輸省第二港湾建設局 原口好郎・運輸省港湾局 加藤勝則
 運輸省第二港湾建設局 ○山下生比古・藤森研一・近藤功一
 11.00~11.15 (66) 透過性防波堤背後の物揚場作用する透過波の波力 茨城県 渡辺 啓 日本テトラポッド(株) 大島 実・○野口雄二
 11.15~11.30 (67) 透過層による波力の減衰について 大阪工業大学 ○久保弘一・井田保夫
 11.30~11.45 (68) 風と波の作用を同時に受ける海洋構造物の基礎実験 東京工業大学 ○椎井博美・台湾電力 堀 換根
 11.45~12.00 討議 (64)~(68)
 12.00~13.00 昼食休憩
 13.00~13.15 (69) 波による円柱の抗力係数および質量係数について 京都大学 土屋義人・○山口正隆
 13.15~13.30 (70) 岩礁上の円柱に働く波力について 運輸省港湾技術研究所 合田良実
 13.30~13.45 (71) 発電所冷却水取水塔の水理 電力中央研究所 ○中村 宏・阿部宣行
 13.45~14.00 (72) 海底パイプラインに作用する波力、潮力について(その2) 東海大学 ○長崎作治・日本エンジニアリング(株) 中村幸司・尾形 寛
 14.00~14.15 (73) 浮標に働く負の揚力に関する研究(第2報) 大阪市立大学 永井荘七郎・○倉田克彦
 14.15~14.30 (74) アンカー・チェーンに働く力に関する研究(第2報) 大阪市立大学 永井荘七郎・倉田克彦・伊藤 忠
 14.30~15.00 討議 (69)~(74)
 15.00~15.10 休憩
 15.10~15.25 (75) 杭状構造物の波浪による応答解析 大成建設(株) ○中川浪隆・高畑市三
 15.25~15.40 (76) 柱状構造物の波力応答計算 運輸省港湾技術研究所 伊藤喜行・谷本勝利・○小舟浩治
 15.40~15.55 (77) 円筒形浮体と浅海波の相互作用 東京大学 堀川清司・○渡辺 晃
 15.55~16.10 (78) 大型タンカー接岸時の仮想質量についての基礎的研究 大成建設技術研究所 自井増次郎・中央大学 林 泰造
 16.10~16.30 討議 (75)~(78)

5. 懇親会

- (1) 期 日: 1972年11月13日(月) 18.30~
 (2) 会 場: 国立教育会館内「グリル虎ノ門」千代田区霞ヶ関 3-2-3 TEL (580) 0698 (直通)
 (地下鉄銀座線虎ノ門下車, 文部省隣り)
 (3) 会 費: 2000円
 (4) 定 員: 60名
 (5) 申込方法: 参加希望の方は氏名, 勤務先, 連絡先, 第19回海岸工学講演会懇親会参加と明記のうえ参加費を添えて現金書留で, 10月25日(水)までに土木学会海岸工学委員会宛お申込み下さい。

6. シンポジウム

- (1) 期 日: 1972年11月15日(水) 14.00~17.00
 (2) 会 場: 土木学会土木図書館講堂(国電四ツ谷駅下車, 外濠公園内)
 (3) テ ー マ: 波と構造物
 (4) コンビナー: 浜田徳一氏
 (5) 話題および話題提供者:

- | | |
|--------------------|---------------------|
| ① 構造物に作用する不規則な波の解析 | 光易 恒氏 (九州大学応用力学研究所) |
| ② 既設海岸堤防の特性と問題点 | 富永正照氏 (建設省土木研究所) |
| ③ 大水深港湾構造物の特性と問題点 | 合田良実氏 (運輸省港湾技術研究所) |

(6) 定 員: 150 名

7. 見 学 会

- (1) 期 日: 1972 年 11 月 15 日 (水)
 (2) 見学場所: 東京港沈埋トンネル施工現場
 (3) 集合場所: 次号参照
 (4) 申込方法: 参加費無料, ただし, 事前に下記によりお申し込み下さい。

① 申込み方法: 参加希望の方は氏名, 勤務先, 連絡先, 第 19 回海岸工学講演会見学会参加希望と明記のうえ, 土木学会海岸工学委員会宛 (〒160 新宿区四谷 1 丁目) 官製ハガキによりお申し込み下さい。

② 申込み期限: 1972 年 10 月 25 日 (水)

(5) 定 員: 80 名 (満員になりしだい締切らせていただきます)

映画会開催について <於土木学会講堂>

▶ 9 月 9 日 (土) ◀

1. 場 所: 土木図書館講堂 (東京都新宿区四谷 1 丁目 国電・地下鉄四ツ谷駅下車)
 2. 日 時: 毎月第 2 土曜日 14.00~ 9 月は 9 日 (土) です。
 3. 上映映画: 9 月は, 次の映画を予定しています。
 「明日をひらく海底同軸」 30 分 電々公社提供
 「砂山を運ぶ」 20 分 日本国土開発・三菱建設提供
 なお, 上映映画は都合により変更することがございますので, あらかじめご了承下さい。
 4. 参加費: 無 料 土木関係以外の方も歓迎致します。
 本映画会に関する問合せは, 土木学会視聴覚教育委員会宛にお願い致します。
 共 催: 土木学会関東支部

第 5 回「土木学会映画コンクール」作品募集
 (旧称国土開発映画コンクール)

土木学会は過去 4 回にわたり「国土開発映画コンクール」を開催してまいりましたが, 今回より「土木学会映画コンクール」と名称を改め下記要項により開催致しますので, ご応募下さいますよう, また, 関係の向きにおすすぬ下さいますようお願い申し上げます。

本映画コンクールも回を重ねるごとに応募作品も増え, また, 質的な向上とも相まって土木技術の普及, 発展に大いに寄与することができたと自負致しております。

奮ってご応募下さいますようご案内申し上げます。

「土木学会映画コンクール」募集要項

1. 内 容: 土木事業または土木技術を中心としたもの
 2. 規 格: 16 mm カラーフィルム トークー昭和 45 年 10 月以降完成の作品に限る
 3. 締 切: 昭和 47 年 9 月 30 日
 4. 申 込 先: 社団法人土木学会編集課 (東京都新宿区四谷 1 丁目 電話 03 (351) 5130)
 5. 審 査: 土木学会映画審査委員会
 6. 賞 : 最優秀賞 1 編, 優秀賞 2 編, 準優秀賞 3 編, 賞状ならびに賞牌
 (該当作品のない場合は変更することがあります)
 7. 発 表 会: 昭和 47 年 12 月 9 日 (土) 土木学会土木図書館講堂
- なお, 土木学会選定映画はコンクール候補作品と致しますので, 再提出して頂きます。
 • 応募希望者は申込先へ申込用紙をご請求下さい。

構造物の耐風性に関する第2回シンポジウム開催と発表論文の募集

構造物の耐風性に関し気象・土木・建築・電気の各分野における研究成果と技術の交流を目的として標記シンポジウムを開催することになりました。会員各位には下記規定をご参照のうえ発表論文をふるってご応募下さい。

共催：電気学会・土木学会・日本気象学会・日本建築学会・日本鋼構造協会

1. 開催期日：1972年12月4日(月)～12月5日(火)
2. 会 場：気象庁講堂(東京都千代田区大手町1-7, 地下鉄東西線竹橋下車徒歩3分)の予定
3. 発表論文の募集：
 - (1) 課題：課題は次によるものとし、論文の内容は独創性のあるものでなければならぬ
 - a) 強風の性質, 設計風速, b) 風圧および風荷重, c) 風の動的作用と構造物の応答, d) 耐風設計方法, 施工例, e) 風害
 - (2) 応募の方法：a) 論文提出希望者は1972年7月31日までに所属学協会、氏名(連名の場合は発表者に○印を付する)、勤務先、職名、連絡先を明記のうえ邦文800字以内の内容概要を所属学協会に提出する。
b) シンポジウム組織委員会は発表論文の採否を8月14日までに決定し応募者に通知する。
c) 採用された論文著者は1972年9月30日までに原稿を所属学協会または幹事学会である日本建築学会(〒104 東京都中央区銀座3-2-19, 電話(03)535-6511)に提出する。
 - (3) 発表論文：発表論文執筆要項については、論文採否の決定の際、執筆者に改めて執筆要項をお送り致しますが、ページ数は8ページ以内(英文概要を含む)の偶数ページを予定しております。

「荷重, 外力と構造物の安全性」に関する研究発表論文募集

(第19回橋梁・構造工学研究発表会)

例年行なわれております橋梁・構造工学研究発表会を、本年度は標題のテーマにより、下記のとおり開催致します。趣旨につきましては本誌56巻3号(昨年3月)にも予告致しましたが、多数の方がふるって論文提出にご応募下さい。なお、今回は、できましたらパネル討論のようなものも企画してみたいと考えております。

記

1. 期 日：1972年12月1日(金)
2. 会 場：(未定)
3. 主 催：日本学術会議構造研究連絡委員会・土木学会・日本建築学会
4. 申込要領：
 - (1) 内容：次の各項に関する独創的な実験あるいは理論的研究を対象とする。
 - ① 荷重の実態と構造物の安全性との関係
 - ② 動的な外力に対する構造物の応答と安全性
 - ③ 大規模構造物における安全性評価上の諸問題
 - (2) 申込方法：8月末日までに論文題目、発表者氏名(連名の場合は登壇者に○印をつける)、勤務先および連絡先と、100字以内の内容概要を添えて、学会宛お申込み下さい。採否は日本学術会議構造研究連絡委員会にお任せ願います。採用のうえは、10月15日までに講演原稿の提出をお願いすることになります。

第 9 回 衛生工学研究討論会講演募集

土木学会衛生工学委員会は、下記の予定で研究討論会を実施しますので、論文提出者はお応募下さいますようご案内いたします。

1. 主 催：土木学会衛生工学委員会
2. 期 日：1973 年 1 月末日の 2 日間
3. 場 所：東北大学
4. 論文内容：本年度は自由課題といたします。
5. 申込方法：9 月 30 日までに講演原稿を土木学会衛生工学委員会までご提出下さい。なお原稿は学会指定のオフセット原稿用紙（申込み次第送付）をご使用下さい。原稿枚数は 8 枚までとし、期限を厳守下さい。昨年と同様、討議論文 1~2 編を付して印刷いたします。特定の討議者をご希望の場合は、希望討議者氏名を同封して下さい。原則として別刷りはお断わりします。
6. 申 込 先：土木学会衛生工学委員会（〒160 東京都新宿区四谷 1 丁目）
7. 採 否：論文の採否は衛生工学委員会にご一任下さい。

第 1 回 土木製図の自動化に関するシンポジウム

▶ 9 月 28 日（木）◀

趣 旨：近年コンピュータの普及と共に、土木建造物の計画・設計・施工・管理などの機械化・自動化が各方面で研究されているが、中でも、設計図の自動製図など、コンピュータの出力を図に表現させる技法が、特に注目されている。この問題は、コンピュータの知識そのもの（ハードウェア）と共に、具体的に実務に使用するための知識（ソフトウェア）を検討する必要がある。

土木製図基準改訂委員会は、この問題に関し各種の研究を行なってきたが、このたび委員会という狭い範囲に限らず、学会会員はじめ広く各方面の方々の参加のもとに研究・討議を行なう必要があると考えられたので、そのはじめとして、このシンポジウムを開催する。

主 催：土木学会土木製図基準改訂委員会

1. 期 日：1972 年 9 月 28 日（木）
2. 会 場：大和証券ホール（東京都千代田区大手町 2 の 6 の 4）
3. 参加定員：400 名
4. 参加費：会員 3 500 円、非会員 4 500 円（ともにテキスト代を含む）
5. 参加申込み先：〒 160 東京都新宿区四谷 1 丁目・社団法人 土木学会編集課あて
6. 話題提供者およびプログラム：

9.30~9.40	I. 開会の挨拶	土木製図基準改訂委員会委員長	菊池 洋 一
9.40~12.00	II. ディスプレイに使用されるハードウェア	(司会) 名古屋大学	島田 静 雄
	II-1 ブロックおよび図化機械	武蔵工業(株) システム部	中川 浩 治
	II-2 ファクシミリとその応用	東京芝浦電気(株) 電子計算機事業部	安田 純 一
	II-3 CRT ならびに COM の応用	日商エレクトロニクス(株) 営業第 1 課	笹 沼 俊 樹
	II-4 デジタイザー	松下電器産業(株) 生産技術研究所	小 嶋 三 郎
	(討 議)		
12.00~13.00	昼 食 休 憩		
13.00~15.00	III. ソフトウェアにおける諸問題	(司会) 國 鉄	阿 部 英 彦
	III-1 建設省における自動図化	建設省大臣官房技術参事官室	富 田 英 彦
	III-2 日本国有鉄道における自動図化	日本国有鉄道構造物設計事務所	阿 部 英 彦
	III-3 一般企業における自動図化	三菱重工(株) 生産技術部	米 長 泰 泰
	III-4 コンサルタントにおける自動図化	電算共同開発会	河 野 通 之
	III-5 学術研究における自動図化	電力中央研究所技術第二研究所	和 田 明
	(討 議)		
15.10~17.00	IV. プログラム開発上の諸問題	(司会) 東京工業大学	中 村 英 夫
	IV-1 プログラム言語	青山学院大学経営工学科	間 野 浩 太 郎
	IV-2 図形処理のアルゴリズム	東京大学土木工学科	中 村 良 夫
	IV-3 コンピュータグラフィックス	東京大学生産技術研究所	村 井 俊 治
	IV-4 将来の動向	名古屋大学土木工学科	島 田 静 雄
	(討 議)		

日米合同 シンポジウム 建設計画および設計のシステム化と自動化

—コンピュータアイディッドデザイン (C.A.D.) の現状と今後の展望—

▶ 10月25日(水) ~ 27日(金) ◀

標記のシンポジウムが土木計画システム協会主催、土木学会共催、国際産業企画協会の協力によって下記のとおり開催されますので多数ご参加下さるようご案内いたします。

1. 期 日：1972年10月25日(水) ~ 27日(金)
2. 会 場：東京商工会議所国際会議場(東京都千代田区丸の内 3-2-2 電 03-211-4411)
3. 内 容：
 - <10月25日(水)>
 - 10.00~ 開会あいさつ 土木計画システム協会委員長 丸安隆和
 - 10.20~ あいさつ(開催にあたって) 土木学会会長 岡本舜三
 - 10.20~15.00 Information Systems for Planning and Management
Massachusetts Institute of Technology C.L. Miller
 - 15.10~16.40 写真情報とその処理について 東京大学 丸安隆和
 - 16.40~17.00 総合討議 (司会) 東京大学 丸安隆和
 - <10月26日(木)>
 - 10.00~15.00 Trends in Civil Engineering Software Development and Use Carnegie-Mellon University
S.J. Fenves
 - 15.10~16.40 建設省における自動設計システム 建設省 富田 努
 - 16.40~17.00 総合討議 (司会) 東京大学 村井俊治
 - <10月27日(金)>
 - 9.30~14.00 The Use of Interactive Computer Graphics in Civil Engineering
University of Colorado R.L. Schiffman
 - 14.10~16.10 国鉄における自動設計システム 国鉄 阿部英彦
 - 16.20~17.20 パネルディスカッション(土木計画におけるコンピュータの利用は今後どうあるべきか)
東京大学 丸安隆和・国鉄 西亀達夫・宮田 努・阿部英彦・(司会) 東京大学 村井俊治
 - 17.20~17.30 開会のあいさつ C.L. Miller・丸安隆和
4. 聴 講 料：38 000 円(お1人につき) 昼食費、資料費含む
5. 申 込 先：(株) システムス・インダストリー 東京都港区赤坂 3-21-6(河村ビル) TEL (03) 585-6456~8
6. 申 込 み 方 法 其 他：参加申込方法、その他詳細につきましては申込先へご連絡下さい。

ヨーロッパ建設視察団の案内

日本工学会では、下記要領によりヨーロッパ視察を実施することになったので、ご案内いたします。

記

1. 主 催 者：社団法人 日本工学会
2. 実施期間：1972年11月1日(水) ~ 11月20日(月) (20日間)
3. 趣 旨：ヨーロッパ諸国では、中世の建築物と近代建築の調和をはかった新しい都市造りが行なわれているが、その状況とヨーロッパ各都市の再開発計画の視察およびミュンヘンオリンピック施設など近代建築を視察する。
4. 視 察 国：イギリス、スウェーデン、フランス、ドイツ、スイス、イタリア、ギリシヤ
5. 参加人員：40名
6. 参加資格：土木学会の会員は、どなたでも参加できる。
7. 参加費用：390 000 円(1名)
8. 申 込 先：社団法人 日本工学会(〒104 東京都中央区銀座 8-5-4 日本鉱業会館5階 TEL (574) 6176)
9. 申込期限：1972年9月22日(金)
10. そ の 他：資料その他詳細については、前記申込先に直接お問合せ下さい。

第19回 風に関するシンポジウム講演募集

標記シンポジウムを下記により開催致しますので講演ご希望の方はふるってご応募下さい。

1. 期 日：1972年11月22日(水) 9.30～
2. 会 場：気象庁講堂 東京都千代田区大手町 1-7, 地下鉄(東西線)竹橋, (丸の内線)大手町下車
3. 共催学会：地震学会・土木学会・日本海洋学会・日本気象学会(幹事学会)・日本建築学会・日本航空宇宙学会・日本地理学会・日本農業気象学会・日本林学会
4. 講演申込締切期日：1972年9月30日(土)
5. 講演申込方法：題目, 講演者氏名(連名の場合は講演者に○をつける), 勤務先, スライド, 図面等の有無を明記し, 幹事学会(日本気象学会)または所属学会宛お申込下さい。
6. 講演時間：1講演 15分程度の予定です。
7. その他：シンポジウムの前刷集は作成致しませんのでご了承下さい。なお, 講演者が各自プリントのうえ, 会場にて参加者へ配布されることは差しつかえありません。
終了後, 懇親会を開きますので多数御出席下さい。

第9回 自然災害科学総合シンポジウム講演募集

文部省科学研究費(自然災害特別研究)による「自然災害科学総合研究班(研究代表者 矢野勝正)」が中心となり, 下記により自然災害科学総合シンポジウムを開催いたしますので, ふるってご参加下さるよう御案内致します。

記

1. 期 日：1972年10月28日(土)～29日(日) 9.00～17.00
2. 場 所：仙台市荒巻字青葉 東北大学工学部
3. 講演申込要領：
 - (1) シンポジウム・テーマ：下記のテーマを取り上げますから, これに沿った論文を募集します。
 - A. 選定課題：1) 台風集中豪雨雪とその防災計画モデル, 2) 道路雪害とその対策, 3) 土砂の流出・流送とそれに伴う自然環境変化, 4) 第三紀層地すべりの予測と対策, 5) シラス地帯の災害と対策, 6) 軟弱地盤・海岸埋立地盤の震害と対策, 7) 山地丘陵地帯の開発に伴う災害の予測と対策, 8) 海岸地域の開発に伴う自然環境変化と災害
 - B. 自由課題：異常気象・強風災害・雪氷災害・河岸災害・河川災害・津波高潮・地盤災害・地震予知・地震動災害・噴火予知・農林災害・その他
 - (2) 講演論文締切：講演論文申込み：締切 1972年8月30日(水)
論文原稿提出：締切 1972年9月15日(金)
所定用紙2枚(3200字)または4枚(6400字) 講演申込み用紙・原稿用紙は請求次第送付
 - (3) 申込・原稿提出：
〒980 仙台市荒巻字青葉 東北大学工学部建築学科 電話 (0222) 22-1800 内線 3585 志賀敏男

第7回 土木計画学シンポジウム課題報告公募

今回のシンポジウムはすでに実施してまいりました第1回～第6回の土木計画学シンポジウムにおける土木計画学の総合化・システム化に関する成果をふまえ, さらに新たな展開をはかる意味で「環境問題と土木計画学」を主題とするとともに, 課題報告の公募方式をとることとなりました。下記の予定および要領をご参照のうえ, ご関心をおもちの各位のご応募をお願いいたします。

土木計画学研究委員会

1. 期 日：1973年1月24日(水)～25日(木)/予定

2. 会 場：土木学会土木図書館講堂
3. 主 題：環境問題と土木計画学——環境問題における環境調査の方法——（仮称）
4. 課題研究募集要項：
 - (1) 内容／上記主題に関連する実際プロジェクトの報告，または研究論文。ただし，未完成のものでも差し支えない。
 - (2) 申込体裁および申込先／課題・目次・内容の要旨を1200字程度にまとめ，個人名（またはチーム名：主査があれば○印を付ける），勤務先・連絡先等を明記のうえ下記あて送付のこと。但し，要旨作成にあたってはなるべく人間生活に関する広義のとらえ方，および計画と調査の関係についてふれられることが望ましい。
〒160／東京都新宿区四谷1丁目 社団法人土木学会 土木計画学研究委員会あて
 - (3) 応募申込み締切期日／1972年9月28日（木）厳守のこと。
 - (4) 講演原稿締切期日／1972年12月15日（金）
 - (5) 応募資格／会員，あるいは連名者のうち1名が会員であること。
5. その他
 - (1) 応募課題の採否／土木計画学研究委員会にご一任承りたい。その結果，講演原稿については別途依頼いたします。
 - (2) 講演者打合せ会／採用された課題報告者またはチーム各位は，土木計画学研究委員会幹事会メンバーと合同で，1972年10月末および同11月中旬に開催予定の講演者打合せ会に参加をお願いいたします。
 - (3) 主題についての照会先：下記第7回土木計画学シンポジウム担当者あて直接お願いしたい。
●末石富太郎（京大工学部／電話 075-751-2111 番，内線 5151）
●中村 良夫（東大工学部／電話 03-812-2111 番，内線 6283）
●河村 忠男（土木学会事務局／電話 03-351-5130 番）
 - (4) プログラム・一般参加要領／本学会誌10月号以降の会告欄に掲載の予定。

第8回 岩盤力学に関するシンポジウム講演募集

第8回岩盤力学に関するシンポジウムを下記により開催いたしますので，講演ご希望の方は，ふるって応募下さい。

1. 期 日：1973年2月
 2. 会 場：土木学会土木図書館講堂
 3. 主 催：土木学会岩盤力学委員会
 4. 講演申込要項：
 - (1) 内 容：岩盤力学に関する理論，実験，測定等（ダム，トンネル，爆破等への応用例も含む）
 - (2) 講演申込期日：1972年10月30日（月）
 - (3) 申 込 先：郵便番号 160 東京都新宿区四谷1丁目 土木学会岩盤力学委員会
 - (4) 申込要領：講演題目，講演者氏名（連名の場合は登壇者に○印をつける），勤務先，連絡先を明記のうえ400字程度の内容梗概を付けてお申し込み下さい。
 - (5) 講演原稿締切期日：1972年12月20日（水）
- 注：1. 講演時間は，1件討議を含め30分程度です。
2. 講演の採否，その他については，岩盤力学委員会にご一任下さい。
3. 講演概要はオフセット印刷と致しますため，講演者には学会所定の様式にしたがって，講演原稿を提出していただきます（1題目刷上和文4ページ〔図表，写真を含み6480字〕および英文梗概ページ以内）。

遠心力大径プレストレスト コンクリート杭設計施工指針（案）講習会

土木学会プレストレスト コンクリート杭設計施工指針小委員会（委員長 最上武雄，副委員長 国分正胤の両氏）では昭和45年来，コンクリートポールパイル協会の委託により遠心力大径プレストレストコンクリート杭設計施工指針（案）の制定の審議を行なって参りましたが，このたびその成案を得ましたので，下記により講習会を開催することになりました。詳細につきましては，次号学会誌ご参照のうえふるってご参加下さい。

記

1. 期 日：1972年11月
2. 場 所：東京
3. 主 催：土木学会
4. 後 援：コンクリートポールパイル協会
5. 参加費：未定

第 22 回 応用力学連合講演会講演募集要項

共催：日本学術会議力学研究連絡委員会・応用物理学会・*土木学会・日本機械学会・日本建築学会・日本鉱業会
 ・*日本航空宇宙学会・日本数学会・日本造船学会・日本物理学会（* 印幹事学会）

1. 開催要領：本講演会を活発にするために次の要領により開催します。
 - 1) テーマ別のシンポジウムと、これに関連した研究論文の発表
 - 2) テーマにかかわらない研究論文の発表

テーマ別のシンポジウムにおける特別講演は、運営委員会が幾人かの方々をお願いします。
 これとは別に、1), 2) の研究論文の発表を広く募集しますから、ふるって応募してください。今年のテーマは下記の通りです。
2. テーマ：A. 応用力学における安定問題, B. 多相系の力学, C. 有限要素法の応用力学における応用,
 D. 応用力学における解析的手法
3. 日 時：1972 年 12 月 5 日（火）、6 日（水）2 日間
4. 会 場：日本学術会議（東京都港区六本木 7-22-34 TEL 03-403-6291）
5. 申込期日：1972 年 8 月 31（木）までに所属学会へ必着
6. 申込要領：講演申込みは所属学会を通して行ない、参加学会会員以外の方は、直接幹事学会へ申込むこと。講演内容はすでに発表されたものでもさしつかえないが、最近の研究に属するものが望ましい。申込方法は下記要領で行なうこと。
 - a) 講演申込希望者は、はがきに「第 22 回応用力学連合講演会講演申込」と題記し、①題目、②通信先、③所属学会名および会員資格、④氏名および所属機関名（連名の場合は講演者に○印を付すこと）、⑤下記の講演部門の分類による希望部門を明記のうえ、所属学会あて送付して下さい。
 - b) 講演部門の分類：テーマに関連した論文は上記の A,B,C,D のテーマの分類を用い、テーマによらないものは E とする。
 - c) 運営委員会において、都合により希望の講演部門を変更することもあります。
7. 前刷原稿：上記申込者には、所属学会より送付する所定の前刷原稿用紙を用い、2 枚の概要を、1972 年 9 月 30 日（土）正午までに所属学会まで送付して頂きます。
8. Proceedings：従来の通り欧文 Proceedings は、日本学術会議力学研究連絡委員会によって発行される予定です。その詳細については講演者あて追って連絡されます。

北海道支部行事案内 (郵便番号 060 札幌市南 1 条西 2 丁目 勸銀ビル 5 階)
 電話 011-251-7038 振替 小樽 20603)

特 別 講 演 会

▶ 9 月 29 日（金）◀

- 主 催：土木学会北海道支部・土質工学会北海道支部
1. 日 時：1972 年 9 月 29 日（金）13.00~16.50
 2. 会 場：北海道建設会館・9 階大ホール 札幌市北 4 条西 3 丁目 電話 <011>261-6181
 3. 講演題目および講師：

13.00~14.50 将来の科学技術と人間	日本総合研究所理事・NHK 解説委員 村野賢哉
	(10 分間休憩)
15.00~16.50 望ましい技術者像	評論家 扇谷正造
 4. 聴講無料

東北支部行事案内 (郵便番号 980 仙台市二日町 18-25・丸七ビル 3 階)
 電 0222-22-8509

(1) 講演と映画の会

▶ 9 月 6 日（水）◀

1. 日 時：1972 年 9 月 6 日（水）9.00~15.00
2. 場 所：建設会館 6 階（仙台市上杉 1-4-20）

3. 題目および講師：

- | | |
|---------------------------|---------------------|
| 9.00～9.10 開会のあいさつ | 東北支部幹事長 松本順一郎 |
| 9.10～10.35 東北開発について | 東北地方建設局長 神谷 洋 |
| 10.35～12.00 青函トンネル工事について | 日本鉄道建設公園青函建設局長 足立貞彦 |
| 13.00～15.00 映画：北上川、青函トンネル | |

4. 会 費：無料（一般の方でも結構です。どうぞお気軽においで下さい）

(2) 見 学 会

▶ 10月4日(水) ◀

- 見学先：白石方面の東北縦貫高速道路工事および蔵王エコーライン
- 期 日：1972年10月4日(水)
- 集 合：宮城県庁前 午前8時まで
- 出 発：午前8時(時間励行)
- 会 費：500円(予納のこと)
- 定 員：40名(定員に達し次第申し込み順に締切り)
- 申 込：勤務先、連絡先、氏名を明記のうえ、会費500円をそえて支部事務局へ早目にお申し込み下さい。会費の納入がない場合は正式な申し込みとはいたしません。

(3) 映 画 会

▶ 10月6日(金) ◀

- 日 時：1972年10月6日(金) 13.00～16.00
- 場 所：日産会館1階日立ファミリーセンター(仙台市青葉通り)
- 映 画：題目未定(土木工学、土木技術に関係あるもの)
- 会 費：無料(一般の方でも結構です。どうぞお気軽においで下さい)

(4) 技術講座予告

- 日 時：未定
- 場 所：山形市(会場未定)
- 題目および講師：未定
- 映 画：題目未定(土木工学、土木技術に関係あるもの)
- 会 費：無料(一般の方でも結構です。どうぞお気軽においで下さい)

(5) 技術研究発表会予告

- 日 時：1973年2月23日(金) 9.00～18.00(予定)
- 場 所：宮城県民会館6階(仙台市国分町3-3-7)(予定)
- 詳 細：後日発表いたします。

関東支部行事案内 (郵便番号 160 東京都新宿区四谷1丁目 土木学会内) 電話 03-351-4133

(1) 「最近の鋼材の話題」講習会

▶ 9月21日(木) ◀

“話題シリーズ”講習会の第3回に、最近の鋼材の話題をとりあげることになりました。建設用鋼材の大型化に伴い、各方面で、研究成果と施工実績の集積が行なわれつつありますが、今回3人の権威者を招き、下記について有益な解説をお願いしたいと思ひます。

多数ご参加下さるよう、ご案内致します。

- 日 時：1972年9月21日(木) 10.00～17.00
- 場 所：土木学会土木図書館講堂
- 題目・講師：

10.00～10.10 開会の辞	土木学会関東支部長 水 越 達 雄
10.10～11.50 建設用大型鋼材について	日本鋼管(株) 上 野 誠
11.50～12.00 質 疑	
13.00～14.40 太径鉄筋の実用化試験について	住友金属工業(株) 菅 野 孝 夫
14.40～15.00 質 疑	
15.00～16.40 太径鉄筋を用いた橋脚の設計と施工について	首都高速道路公団 玉 置 脩
16.40～16.50 質 疑	
16.50～17.00 閉会の辞	土木学会関東支部幹事長 藤 井 敏 夫
- 参加費：1200円(テキスト代を含む)
- 申込方法：参加希望者は、①氏名、②所属部課名、③連絡先等を明記のうえ、参加費を同封し現金書留にて、関東支部宛お申し込み下さい。なお、定員は200名で締切りますので、お早めをお願いいたします。

(2) 東北縦貫道・渡良瀬遊水池・草木ダム見学会

▶ 10月12日(木)～13日(金) ◀

今回の見学会は、現在、関東地方で実施されているビッグ・プロジェクトとして、標記の3工事をとりあげました。

東北縦貫高速自動車道は、今秋、宇都宮までの開通が予定されており、渡良瀬遊水池では、広大なサイトで堰堤、水路などの各種工事が展開されております。また、草木ダムも、コンクリートの打設が開始されようとしております。

この機会にご見学くださるよう、ご案内致します。

1. 日 時：1972年10月12日(木)～13日(金)
2. 集 合 場 所：大宮市役所前(国電大宮駅下車、東口より徒歩5分)10時出発
3. 見学コース：大宮—岩槻—東北縦貫道(道路公園)—佐野—渡良瀬遊水池(建設省)—佐野—東北縦貫道—宇都宮—日光—半月峠有料道路(栃木県)—中禅寺湖畔(泊)—足尾—草木ダム(水資源公園)—桐生—熊谷—大宮 17時解散
4. 定 員：50名(着金順にて、定員になり次第締切ります)
5. 参 加 費：4500円(1泊4食、バス代を含む)
6. 申 込：参加希望者は、①氏名、年令、②所属部課名、③連絡先等を明記のうえ、会費を同封し、現金書留で関東支部あてお申し込み下さい。
7. 服 装：現場が歩けるような服装

中部支部行事案内 (郵便番号 450 名古屋市中村区笹島町 1-232 近畿日本鉄道(株)鉄道総局)
名古屋営業局施設部庶務課内 電 052-582-3311 内線 251

(1) 昭和47年度技術講座

▶ 8月25日(金) ◀

1. 日 時：1972年8月25日(金)9.30
2. 場 所：愛知県産業貿易館 名古屋市中区丸の内3丁目1-6
(地下鉄「市役所」下車、大津橋を西へ徒歩5分)
3. 題 目：土質工学講座
4. プログラム：

9.30～9.40 ① 開会あいさつ	土木学会中部支部支部長 土方大式
9.40～11.40 ② 矢板壁の土圧	名古屋大学教授 市原松平
11.40～12.00 ③ 土質工学に関する質疑応答	解答者：名古屋大学教授 市原松平・同 植下協・同助教授 松尾稔
13.00～14.20 ④ 土構造物の安全性	名古屋大学助教授 松尾稔
14.30～15.50 ⑤ 基礎工の考え方	名古屋大学教授 植下協
15.50～16.00 ⑥ 閉会あいさつ	土木学会中部支部幹事長 水野忠
5. 会 費：300円(テキスト代)
6. 定 員：200名
7. 質問事項の受付：8月10日までに土木学会中部支部へ書面をもってお申し込みください。
8. 協 賛：土質工学会中部支部

(2) 昭和47年度第2回見学会

▶ 9月29日(金) ◀

1. 期 日：1972年9月29日(金)
2. 見 学 先：名古屋高速道路(掘田南下部築造工事)、名古屋高速鉄道(金山町工区円型隧道新設工事)、掘留下水処理場(掘留下水処理場増設工事)
3. 行 程：詳細未定
4. 会 費：300円
5. 定 員：50名

関西支部行事案内 (郵便番号 541 大阪市東区船場中央2丁目2番地 船場センタービル4号館) 409号 電 06-271-6686 番 振替口座大阪 82599 番

「材料強度と信頼性設計」講習会 ▶ 10月13日(金)～14日(土) ◀

- 主催：日本材料学会関西支部 共催：土木学会関西支部、ほか10学協会
1. 日 時：1972年10月13日(金)～14日(土) 9.30～17.00
 2. 会 場：大阪科学技術センター4階401号室 電話 大阪(06)443-5321番
大阪市西区靱1丁目118番地(地下鉄四ツ橋線本町下車北へ150m, 靱公園北東角)
 3. 題目と講師：

第1日(10月13日) 9.30～11.00	① 構造物の設計と安全性	東大工 伊 藤 学
11.00～12.30	② 構造物の軽量化設計と信頼性	東大宇航研 砂 川 憲
13.30～15.00	③ 鉄構材料のフラクトグラフィ	住金中研 寺 崎 富久長
15.00～16.30	④ 実働荷重下の金属の疲労破壊	福井大工 北 川 茂
第2日(10月14日) 9.30～11.00	⑤ 疲労寿命構造例と問題点	川重技研 中 村 宏
11.00～12.30	⑥ 実働応力測定と疲れ設計の手法	日立技研 鯉 淵 興二
13.30～15.00	⑦ 自動車における実働荷重に対する試験と設計	東洋工業実研企画 望 月 澄 男
15.00～16.30	⑧ 衝撃荷重に対する疲労強度	立命大理工 田 中 道 七
 4. 定 員：100名
 5. 参加会費：会員8000円、非会員10000円、学生会員3000円(共にテキスト代含む)
 6. 申込方法：参加希望者は勤務先・連絡先・氏名および所属協会名を明記し、参加会費を添えて現金書留にて下記へお申し込みください。
申込先：日本材料学会関西支部 電話 大阪(06)441-5531番
(郵便番号550)大阪市西区靱1丁目 大阪科学技術センター6階

西部支部行事案内 (郵便番号 810 福岡市中央区薬院2丁目14番21号) 電 092-78-3716

(1) 夏期講習会 ▶ 8月24日(木)～25日(金) ◀

1. 開催期日：1972年8月24日(木)9.00～17.00, 8月25日(金)9.00～11.30
2. 会 場：阿蘇, 白雲山荘(豊肥線赤水駅前)
3. 参 加 料：2000円(テキスト代を含む)
4. 宿泊予約料：1人につき1000円(1泊2食 2300円(税込))
5. 申込方法：申込書に勤務所または住所氏名, 宿泊日(23日, 24日)を明記のうえ, 参加料および宿泊予約料を添えて申込むこと(不参加の場合, 宿泊予約料は払戻せず, 講習会テキストは送付します)。
6. 申込期限：1972年8月10日, 先着150名まで
7. 申 込 先：〒810 福岡市中央区薬院2丁目14-21 土木学会西部支部
8. そ の 他：申込みは便宜用紙で結構です。支部にて印刷のうえ, 関係の向きには送付します。不着の場合は支部に請求して下さい。
9. 講演題と講師(順序未定)(敬称略)

8月24日(木)		
9.05～9.45	県下の土木事業について(仮題)	熊本県土木部長 信 田 正 雄
9.50～10.30	最近の土木材料とコンクリート工学の話題	九州工業大学教授 渡 辺 明
10.35～11.15	審議開発について	第四港湾建設局洞海湾工事事務所長 飯 島 昭 美
11.20～12.00	湾内堆積汚染泥土の浚渫にともなう諸問題	熊本大学教授 三 池 亮 次
13.00～13.40	構造解析の基本原則と有限要素法	九州大学講師 彦 坂 次 照
13.45～14.25	黒之瀬戸大橋の概要について	日本道路公団 黒之瀬戸大橋工事事務所長 増 永 勤 三
14.30～15.10	新関門トンネルについて	日本国有鉄道 下関工事局線増第1課長 吉 川 恵 也
15.15～16.00	六角川河口堰の計画と施工について	九州地方建設局竹尾工事事務所長 浜 治 純
8月25日(金)		
9.00～10.00	シールド工事の現況と方向について	熊谷組技術研究所第2部長 田 中 壬子也
10.05～11.05	最近の場所打杭と連続壁工法の現況	大成建設土木部技術室主任 泉 兼 一

日本土木史 昭和16年～昭和40年 予価 25000円
本州四国連絡橋調査実験報告書 2冊 16500円
東名高速道路建設誌 11500円
土木製図基準 1972年版 1600円
土木技術者のための 振動便覧 2400円
建設技術者のための 測定法 2000円
土木技術者のための 岩盤力学 3600円
海岸保全施設設計便覧 改訂版 2300円
水理公式集 46年改訂版 4000円
橋 1969～1970 1600円
土質実験指導書 45年改版 340円
土木材料実験指導書 490円
水理実験指導書 250円
構造実験指導書 450円
測量実習指導書 450円
コンクリート標準示方書 1000円
コンクリート標準示方書解説 1300円
プレパックドコンクリート 施工指針 220円
人工軽量骨材コンクリート 設計施工指針 300円
鉄筋コンクリート工場製品 設計施工指針 650円
プレストレストコンクリート 設計施工指針 改訂中
トンネル標準示方書解説 44年改版 800円
シールド工法指針 800円
沈埋トンネル要覧 2000円
トンネル工学シリーズ 1～7 8700円
土木工事の積算 1800円
鋼鉄道橋設計標準解説 2000円
〒160 東京都新宿区四谷1丁目 土木学会 ☎ 351-4131(販売)振替東京16828